

# 北大・北農研連携による研究内容



**課題名:** 寒冷地での実用化をめざした人工湿地浄化システム

(研究期間: H18~H20)

## 研究担当者

北大 大学院 農学研究院  
 長澤徹明教授(代表) 井上京准教授  
 富士田裕子准教授 山田浩之助教

北農研 寒地温暖化研究チーム  
 加藤邦彦主任研究員

## 研究目的

- ▶ 低コストで酪農雑排水を浄化できる人工湿地システムの確立。
- ▶ 極寒の道東や雪の多い道北でも一年中稼働する技術の開発。



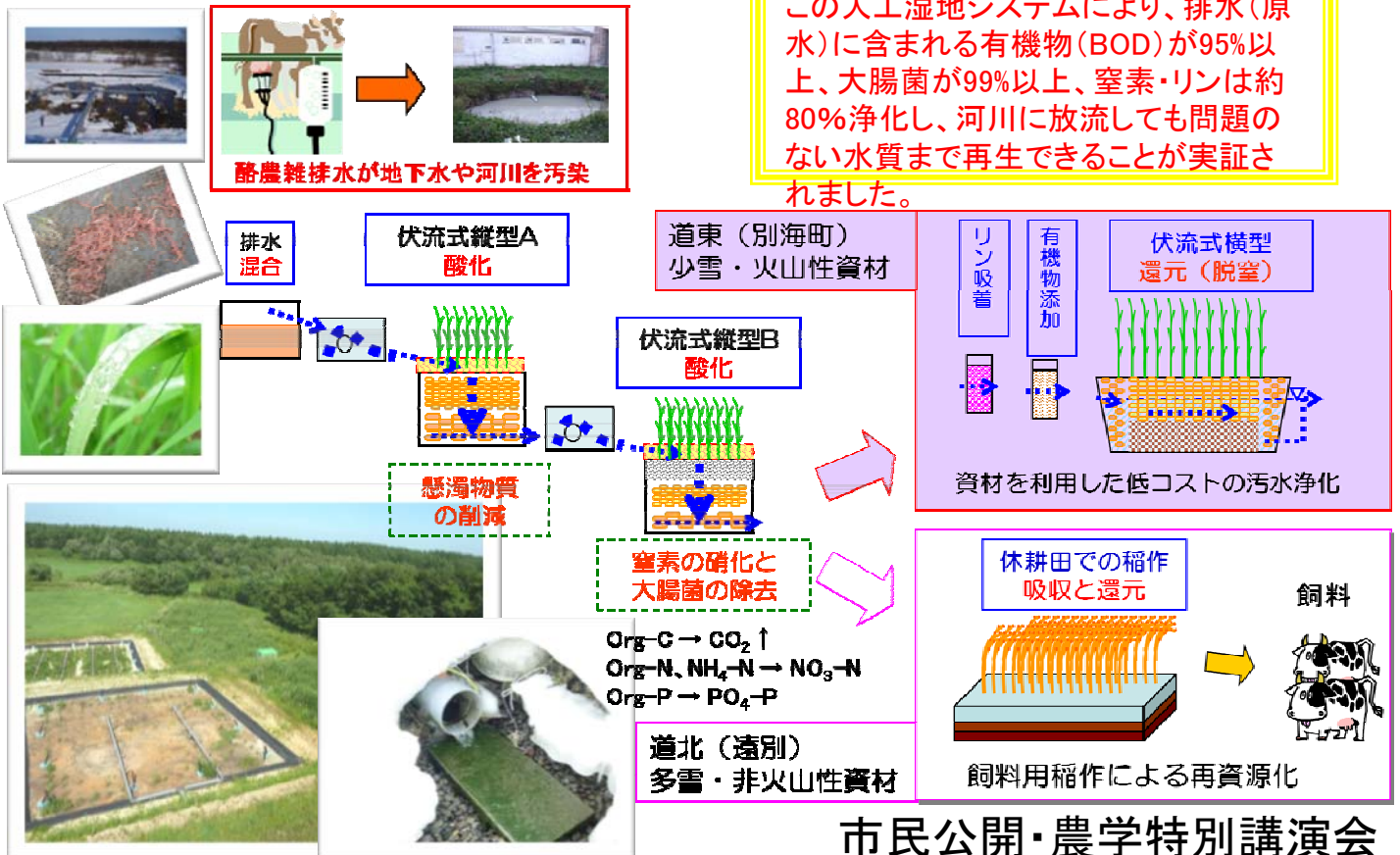
北海道

道東と道北の2つの酪農地域において、酸化還元構造をもつ寒地向け人工湿地システムによる酪農雑排水浄化の現地試験を実施。設計法の確立、浄化効率の維持向上、経済性の評価や水文環境、動植物への影響解明、稲作の活用など、人工湿地システムによる浄化技術の実用化を目指した。

## 研究内容 (又は主要成果)

### 研究成果

この人工湿地システムにより、排水(原水)に含まれる有機物(BOD)が95%以上、大腸菌が99%以上、窒素・リンは約80%浄化し、河川に放流しても問題のない水質まで再生できることが実証されました。



市民公開・農学特別講演会